

平成 30 年 8 月 20 日

各都道府県教育委員会
高等学校指導事務主管課 御中
義務教育指導事務主管課 御中
各都道府県私立学校事務主管課 御中
各政令指定都市教育委員会事務局 御中

公益財団法人
中谷医工計測技術振興
事務局長 寶



小学校・中学校・高等学校の科学教育振興に関する助成の募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、公益財団法人中谷医工計測技術振興財団は、神戸の臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックス株式会社（東証一部上場：コード 6869）の初代社長・中谷太郎により 1984 年に設立され、それ以来、医工計測技術振興のため、研究開発や技術交流に対する助成、研究者の顕彰等を行っております。

平成 26 年度より中学校・高等学校の科学教育振興に対しても助成することとし、さらに平成 28 年度からは小学校まで助成範囲を広げました。募集に際しましては、本制度の周知にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。慎重かつ厳正な審査の結果、平成 30 年度は個別 60 件、プログラム 27 件、小学校の先生方を支援するプログラム 8 件に対して助成を行っております。

昨年からは文部科学省の後援もいただいております。また、研究の成果を発表する大会も東西で開催いたしました。

つきましては、平成 31 年度の募集を別紙の通り実施いたしますので、ご案内申し上げます。

本事業についてご理解賜り、ご多用とは存じますが、貴傘下の教育機関等にご周知賜りますようお願い申し上げます。

敬具



プログラム助成

国立茨城工業高等専門学校
車いす仕様バスミス望遠鏡自動追尾化による
特別支援学校と普通校の交流

科学教育の分野で障害者と健常者の交流を図り、未来のホーキング博士を育てようというのが最終目標だ。高倍率の天体観測は、すぐに視野の中から外れやすく、障害者の方には扱いにくい。それをカバーするためウェブカメラを用いて天体を自動追尾する制御システムを作った。外部の専門家の協力も得て、部員たちも刺激を受け卒業後の進路を決めた生徒もいる。この望遠鏡を用いた観測会は茨城県内だけでなく、福島県の支援学級にも広げる予定だ。



長崎県立宇久高等学校
故郷の島をまるごと記録する
～宇久ストリートビューの製作～

宇久島は長崎県五島列島最北端に位置する。島内には、小学校、中学校、高校が各1校あり、すべての学校を合わせて、児童・生徒数は80余名。より充実した教育を実現するため連携型小中高一貫教育をおこなっている。地図検索でよく使われるストリートビューは、宇久島では提供されていないので、自分たちで360度カメラを使って作成。4D機能も付加して観測場所の過去の映像が見え、変化もわかる。世界無二のストリートビューを作成している。



個別助成

みなかみ町立新治小学校（群馬県）
絶滅危惧種『赤谷のイヌワシ』を保護する
自然林再生・復旧の試み

学区にある赤谷の森には、絶滅危惧種であるイヌワシやクマタカなどの希少種が生息している。手入れがされなくなった人工林もたくさんあり、イヌワシもエサの動物をとれなくなり絶滅しかかっている。新治小学校の児童と地域団体、自然保護団体が協同で活動を行い、観察会やセンサーカメラでのデータ撮影、動物生態研究を行っている。自然林を再生するには100年かかるといわれるが、子供たちは豊かな森づくりに取り組み、また体験を通して「自然と共生する」生き方を学んでいる。



広島市中広中学校
太田川流域の水質調査と環境放射線について

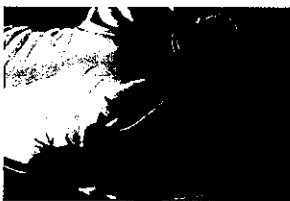
生徒自身が環境問題に興味を持ち、これからどう対応すべきかを考えるために身近な環境調査から題材を求めた。市内を流れる太田川の流域調査と環境放射線の測定を行い、調査ポイントや条件での比較をグラフ化した。太田川流域の水質調査では他校の科学部と連携して流域、気温、雨量等で水質や微生物にどのような変化があるかを調べた。また、放射線量調査では、福島の帰宅困難地域での放射線量も調査し、その影響の大きさに皆驚いた。測定を数値化することにより、客観的に環境問題を捉えられるようになった。



個別助成

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
ロボットを利用したものづくり教育

0歳から高等部まで聴覚に障害を持つ子供たちが学ぶ聴覚特別支援学校で、ロボットを使ったものづくり教育を推進した。高等部にある工業技術科が中心となり、ロボットをツールとして、小学生にはプログラミング学習を、中等部では制御学習をすすめた。文化祭では、ライントレーサーで動きの変化を、子犬型ロボットではアルゴリズムを体験し大人気であった。思い通りに動作をさせるためにはプログラムの構築が必要であり、論理的に物事を考える習慣がついた。IoTやAI化が進む中で、きっと役立つことだろう。



意欲的な小学校の先生を支援するプログラム

三島市教育研究会小学校理科部（静岡県）
チーム三島理科教育向上計画

三島市内の小学校教諭の3割が20代で、理科を専門的に習ってきた教員がとて少ない現状がある。子どもにとって楽しい授業、学びのある授業を提供するには、理科好きな教員を増やすことが何よりである。そこで三島版授業改善モデルプランを作成し、推進委員会を組織して、理科教育の底上げをはかってきた。学年ごとのモデルプランづくりや研究授業、ワークショップなどを開催している。今後も市内の理科教育を牽引していく使命感をもって、「理科好きな教員」を増やす活動を続けていく。



わかるうれしさ、探しにいこう！

科学の学びを通じて、子どもたちの興味と
体験の橋渡しをする助成金のご紹介



小学・
中学・高校
教育機関が
対象です。

科学教育振興助成

文部科学省後援



公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 国際健康開発センタービル(IHDビル)5階
本部 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階



公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団

〔平成31年度助成の募集期間〕

平成30年10月15日～12月10日

科学教育を 通じてつくる、 発展するチカラ。



中谷医工計測技術振興財団は、将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を育み成長させることが、科学技術の発展はもとより我が国の発展に寄与するものと考え、小学校、中学校、高等学校における科学教育振興を目的とした取り組みに対して助成する事業を平成26年度より実施しています。さらに、理科好きの小学生を増やすため意欲的な小学校の先生方を支援する取り組みも行っています。この助成が、科学教育発展にご尽力いただいている皆様の一助になればと考えています。

— 中谷医工計測技術振興財団とは —

中谷財団は、シスメックス株式会社の創業者・中谷太郎が昭和59年に「中谷電子計測技術振興財団」として設立しました。その意思を継いだ子息の中谷正の遺贈を受け、平成24年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わりました。同年には、公益財団法人に移行し現在の財団名となりました。当財団は、医工計測技術の広範な発展を推進し、社会および国民生活の質の向上に寄与することを目指しています。医工計測技術分野における先導的技術開発の助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術交流への助成等の事業を行っています。また、若手人材育成のため、科学教育振興をはじめ大学生の留学サポートや大学院生向け奨学金等の助成事業も行っています。



最新情報については、ホームページをご覧ください。詳しくは
<http://www.nakatani-foundation.jp/>

中谷財団

検索

お問い合わせは、上記HPの「お問い合わせフォーム」よりお願いします

プログラム助成

助成対象

広く科学教育を振興するため、小学校、中学校、高等学校等の複数校の児童・生徒が主体的に共同で行う2年間の活動。
※地域特性を活かした取り組みを重視します。

助成金額

最大100万円×2年間

応募資格

上記の活動の企画・運営を行う代表校。原則、大学や教育センターからの応募はできません。
※高等専門学校は、1～3年生が対象となります。
※2年間継続して活動いただける組織に限ります。

個別助成

助成対象

小学校、中学校、高等学校等における児童・生徒の科学に対する関心を高めようとする授業やクラブ活動等。
※地域特性を活かした取り組みを重視します。

助成金額

最大30万円×1年間

応募資格

上記の企画と実施に取り組む小学校、中学校、高等学校。
※高等専門学校は、1～3年生が対象となります。

意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成

助成対象

子どもたちの理科の力を向上させるための指導法の改善や学習法の開発などに取り組む意欲的な小学校の先生方、または先生方を支援する機関の3年間の活動。
1) 複数の学校が共同で行う活動。
2) 複数の学校が、研究機関(博物館、科学センター、大学等)や教育センター等と共同で行う活動。

助成金額

最大100万円×3年間

応募資格

上記の活動の企画・運営を行う代表校または、機関、コンソーシアムの代表。
※原則、地方自治体からの応募はできません。教育センターからの応募は可能です。
※先生方の自主的な研究会は、組織体として整備され、教育委員会が承認または認知した組織に限ります。
※3年間継続して活動いただける組織に限ります。

- 本助成対象は、学校、教育機関であり、先生個人を対象としたものではありません。
- 1校から1件の応募をお願いします。
- 一貫校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校等も対象にします。
- 個別助成、プログラム助成は児童・生徒が主体的に行う活動が対象です。

平成31年度助成の
募集期間

平成30年10月15日～12月10日

応募 方法

当財団ホームページにて、募集要領を確認の上、ウェブシステムよりお申し込みください。
(募集期間前の入力はありません)
ご応募の前には、必ずHPのQ&Aをご覧ください。

応募の
流れ

ユーザー
登録

Web
入力

応募
完了

過去の 助成数

第5回(平成30年度) 【プログラム】27件、【個別】60件、【小学校の先生支援プログラム】8件
第4回(平成29年度) 【プログラム】40件、【個別】56件、【小学校の先生支援プログラム】12件
第3回(平成28年度) 【プログラム】39件、【個別】57件、【小学校の先生支援プログラム】6件